

高めよう「読む力」

近年、スマートフォンやSNSの普及に伴い、こどもたちの読解力の低下が心配されています。読書の秋、ぜひこどもたちと一緒に読書をしてみたいはいかがでしょうか。

こどもたちの読書量

右のグラフは、こどもたちが1カ月にどれくらいの量の本を読むのか、読書についてのアンケート結果から抜粋したものです。漫画や雑誌を読むことが読書に含まれるかどうかは意見が分かれるところですが、小・中学生ともに9割以上が1カ月に1冊以上の本を読んでいることが分かります。多くのこどもたちが本に親しみ、本からさまざまなことを学んでいるのでしょう。

こどもが本を読みたがらない理由

「面倒くさい」という気持ちが読書を阻む、最も大きな障害となっているのではないのでしょうか。テレビや動画サイト、SNS上のやりとりは即時的な楽しさや満足感が「受け身」のままで得られることに対して、本を読む行為には「能動的なエネルギー」が必要です。「本を読んで楽しかった」という経験が一度でもつかめれば、本を読むことの突破口へとつながります。

本を読む利点

- 知識や語彙が増える
- 集中力が向上する
- 創造性が刺激される
- 自分の視野が広がる
- ストレス軽減に役立つ
- 他者の経験や考えを知ることができ、受け入れる力がつく

読書が苦手なこどもへのアプローチ方法

① 興味・関心に合った本を選ぶ

読書への意欲が高まります

② 絵本や挿し絵の多い本を選ぶ

読みやすくイメージしやすいので、読書へのハードルが下がります

③ 一緒に読む

同じ本を一緒に読むことで、楽しさや興味を共有し、読書が楽しい経験になります

④ ゲーム性を取り入れる

読んだ本に関連するクイズやゲームを通じて、楽しみながら読むスキルが向上します

本を読むことが「読む力」を育むとても大切なことだということは、こどもたち自信も気付いているはずです。本を読む第一歩として、こどもたちの目に付くところに自然に本を置き、本を手に取りやすい環境づくりから始めてみませんか。